

# 折尾新駅舎 デザイン案公開

北九州市

北九州市は13日、2016年度に完成予定のJR折尾駅新駅舎のデザイン案Ⅱ写真Ⅱを公開した。「歴史的な姿を残したい」との地元の要望を受け、現在の駅舎の外観をほぼ踏襲した。市とJR九州が考案し、地元住民らが駅前で開いた駅舎に感謝するイベントで、北橋健治市長が発表した。現在の駅舎は洋風木造2階建てで、1916年に改築された。それ以降の改修工事で屋根や外壁の様子が



変わったため、新駅舎は16年当初の外観に近づけ、化

粧柱や円形ベンチなどの部材も可能な限り再利用する。

デザイン案を披露した北橋市長は、「歴史と風格を備えた駅舎を作り、地元住民から愛され、親しまれるように努力したい」と話した。

折尾地区自治区会連合会の安井紀義会長(71)は「地元の財産の面影が残ることになり、良かった。新しくなった駅を中心に活性化させていきたい」と語った。